一般社団法人 日本建設機械施工協会

研究開発助成に係わる申請手続き等様式

１　申請手続き

一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成申請書 様式－１①

助成研究者経歴 様式－１②

共同研究者経歴 様式－１③

研究計画書 様式－１④

研究費用予定内訳書 様式－１⑤

２　助成金交付手続き

請 書 様式－２①

助成金振込先通知書 様式－２②

助成研究の予定工程表 様式－２③

20万円以上の器具等の使用計画 様式－２④

３　成果報告

一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成成果報告 様式－３①

成果報告書の要約 様式－３②

決算報告書 様式－４

発表実績一覧表 様式－５

４　中間報告・変更報告

一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成中間報告 様式－６①

助成研究の中間報告書 様式－６②

助成研究の実施工程表 様式－６③

助成研究の変更報告書 様式－７

様式－１①

令和　　　年　　月　　日

一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成申請書

一般社団法人日本建設機械施工協会

会　長　　田﨑　忠行　殿

 〒

住 所

所 属

ふりがな

氏 名 　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　貴社団の第13回研究開発助成金を受けて下記のテーマについて研究を実施したいので申請いたします。

記

１．助成研究名

２．助成金要望額

　　　　　　　　　　要望額　　　金　　　　　　　　　　　円

 ３．助成金受入れ方法（いずれかに○または記入をお願いします）

1)奨学寄附金

2)その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 ４．当助成制度の情報入手方法（いずれかに○または記入をお願いします）

1)JCMAホームページ

2)JCMA発行誌（建設機械施工）

3)大学等教育機関への募集案内

4)その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

様式－１②

助成研究者経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　ふりがな氏　　名 | 　 　　　　　 印 | 生年月日 | 大　正昭　和　　　　年　　月　　日平　成 |
| 連絡先 | （〒　　　－　　　　　） | Eﾒｰﾙ：TEL：FAX： |
| 勤務先（所属） |  | 職名 |
| 最終学歴 |  |
| 学位等 |  |
| 研究歴 |  |
| 主な関連著書・論文・研究発表等（著者名とそれ以外に分けて記入願います） | （題名等） | （著者名） |

様式－１③

共同研究者経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  ふりがな 氏　　名 |  印 | 生年月日 | 大　正昭　和　　　年　　月　　日平　成 |
| 連絡先 | （〒　　　－　　　　　） | Eﾒｰﾙ：TEL：FAX： |
| 勤務先（所属） |  | 職名 |
| 最終学歴 |  |
| 学位等 |  |
| 研究歴 |  |
| 主な関連著書・論文・研究発表等（著者名とそれ以外に分けて記入願います） | （題名等） | （著者名） |

※共同研究者が2名以上の場合は適宜追加して下さい。

様式－１④

　　研　究　計　画　書　（その１）

|  |  |
| --- | --- |
| 助成研究名 |  |
| 研究の目的・意義 | 本助成へ申請する対象の研究（以下「助成研究」という。）について、背景、目的と社会的意義を、300文字程度の文章でご記入ください。但し、本助成研究と他の研究で研究全体が構成されている場合は、研究全体の目的・意義と区別してご記入ください。 |
| 助成対象要件に該当する内容①合理化②品質管理③安全対策④環境保全⑤復旧及び防災⑥維持管理（保全）⑦その他※該当項目を残し、該当以外の項目は削除して下さい。 | 貢献度について | 建設機械及び建設機械施工に関する技術等の向上に、この助成研究が左欄「助成対象要件に該当する内容」で選択した項目について、どのように貢献するのかを分かり易くご記入ください。但し、本助成研究と他の研究で研究全体が構成されている場合は、研究全体と区別してご記入ください。 |
| 新規性と独自性について | 類似研究の名称（類似の研究がある場合） |  |
| この助成研究の新規性・独自性について従前の技術との比較等により分かり易くご記入ください。なお、類似研究がある場合は上段の「類似研究の名称」にその名称を記述し、これとの相違点を分かり易く説明してください。 |
| 研究の概要 | キーワード [ ]この助成研究の内容、方法などを、適宜理解を助ける図、表、写真等を用い分かり易く、かつ簡潔にご記入ください。但し、本助成研究と他の研究で研究全体が構成されている場合は、研究全体と区別してご記入ください。 行数は指定しません。必要により、欄が次ページにまたがっても結構です。 |
| 研究の準備状況 | 研究計画書（その１）は最大3枚までとしますこれまでの取組み状況及び準備状況について適宜理解を助ける図、表、写真等を用い分かり易く、かつ簡潔にご記入頂くとともに、成果（論文、知的所有権等）も併せてご記入願います。 行数は指定しません。必要により、欄が次ページにまたがっても結構です。 |

様式－１④

　　研　究　計　画　書　（その２）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究手順 | 研究のフローチャート研究が数年にまたがる場合は、全体の研究手順をわかりやすいフローチャートを用いてご説明ください。また、その内今年度の範囲をわかりやすく示してください。【フローチャートの例】　①実現場調査　　　機械の利用実態を調査するため…　②模型製作・模型実験　　　８分の1の模型により…　③挙動解析・モデル化　　　実現場並びに実験フィールドに　　おける模型実験を踏まえ…　④実機展開の課題抽出　　　模型実験を踏まえ…　⑤計測装置製作・実装　　　実現場における挙動解析の　　ため…　⑥実証実験　　　現地への適用について○○　　建設と共同研究を行い… |
| 全体の研究期間 | 着手　　 年 月　～　終了　　　年 月 |
| 当該研究に関する他機関からの助成の有無（該当に○を付し、有の場合所要項目を記入） | 有　　　助成機関名：　　　　　助成期間：無 |
| 昨年度助成の有無（どちらかに○） | ・昨年度助成の続き　　　　　　　　　・新規 |
| 研究の今後の展開 | 次年以降にも継続する場合、課題、研究の方針について分かり易くご記入ください。 |
| 研究成果の活用 | 最終的に得られる成果の、実社会への活用方法及び導入に関する道筋について分かり易くご記入ください。その際、実効性、経済性、汎用性についても言及してください。 |

様式－１⑤

研究費用予定内訳書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 金　　額 | 内　　　　訳 |
| 人件費 |  |  |
| 資料費 |  |  |
| 調査費 |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |
| 消耗品等費 |  |  |
| 通信費 |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |
| 謝　金 |  |  |
| 借料・損料 |  |  |
| 論文投稿料 |  | 投稿する学会名[ ] [ ] |
| 管理費用 |  |  |
| 合計 |  |  |

（注）実態に即して作成して下さい。

建設機械又は建設施工(施工に伴う調査を含む)に関する技術開発若しくは研究であると判るよう内訳に具体的な内容を記載して下さい。

様式－２①

請　　　　書

令和　　　年　　　月　　　日

一般社団法人日本建設機械施工協会

会　長　　　　田﨑　忠行　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　〒

　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　所 属

　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

令和　　　年　　　月　　　日付　　　助成番号　　　第　　　　　号

助成研究名　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

助成金額

上記の助成研究については、一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成 募集要綱及び申請書等に従って誠実に実施致します。

様式－２②

助成金振込先通知書

令和　　　年　　　月　　　日

一般社団法人日本建設機械施工協会

会　長　　　　田﨑　忠行　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　所 属※１

　　　　　　　　　　　　　　　　　役　職

印

　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

助成研究名「 」

助成研究者名

上記研究開発助成金の受入れ方法（次の１または２を○で囲んで下さい。）

　　　　　１．奨学寄附金

　　　　　２．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

下記口座振込みにより、お支払い下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 振　込　銀　行　名 |  |
| 支　　　店　　　名 |  |
| 　預金種類○印 | 　普通預金 | 　当座預金 | その他（　　　　　　　　） |
| 口　　　座　　　名　　　義　※２ |
| ふりがな |
|  |
| 口　　　座　　　番　　　号 |
|  |

※１　助成金振込先通知書は、法人等組織の助成金振込口座を取り扱う会計責任者が行って下さい。

※２　法人等組織の助成金振込口座を記入。助成研究者の個人名の口座は不可。

※３　振込みにあたり法人等組織の固有の書類(寄付申込書等)が必要であれば添付願います。

様式－２③

助成研究の予定工程表

申請書に従って、下記の工程表のとおり実施致します。

令和　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助　成　番　号第　　　　　号 | 助　成　研　究　名 | 研究者・所属 |
|  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 令和 年 | 令和 年 | 備考 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

〈記入例〉 予定工程は実線（4.5ｐ）で記入

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．○○の調査 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

様式－２④

20万円以上の器具等の使用計画

　以下に示す20万円以上で購入する、又は購入した器具等については、一般社団法人日本建設機械施工協会の目的である「建設機械及び建設施工に関する技術等の向上の普及を図り、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与」する研究に、以下に示す期間（使用期間）使用します。

20万円以上の器具等の使用計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 品名 | 員数 | 購入予定額 | 購入額 | ※使用期間 | 備　考 |
| １ |  |  |  |  | ～令和　年　月　日 |  |
| ２ |  |  |  |  | ～令和　年　月　日 |  |
| ３ |  |  |  |  | ～令和　年　月　日 |  |
| ４ |  |  |  |  | ～令和　年　月　日 |  |
| ５ |  |  |  |  | ～令和　年　月　日 |  |

※税法上の耐用年数以上であることが必要です。

注１　助成対象期間終了後でも、研究開発助成事務局から使用状況について問合せる場合が

あります。

注２　使用期間に当協会の目的に合った研究に使用されていないことが確認された場合は、

助成対象期間が終了した場合であっても当協会で算定した額を返却していただきます。

注３　記載内容に修正が発生した場合は、助成対象期間が終了後でも随時提出をお願いしま

す。

様式－３①

一般社団日本建設機械施工協会研究開発助成成果報告

令和　　　年　　　月　　　日

一般社団法人日本建設機械施工協会

会　長　　　　田﨑　忠行　殿

 〒

住　　所

所　　属

ふりがな

氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

令和　　　年　　　月　　　日付　　　助成番号　　　第　　　　　号

助成研究名　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

　上記の助成研究は、令和　　　年　　　月　　　日に完了いたしましたので、下記書類を添えて報告いたします。

－　記　－

１．成果報告書　　　　　　　　　　　　　　　 　1部および電子データを記録した媒体※

２．20万円以上の器具等の使用計画（様式－２④）１部

３．成果報告書の要約（様式―３②）　　　　　 　1部および電子データを記録した媒体※

４．助成金に関する決算報告書（様式―４）　 　１式

５. 発表実績一覧表（様式―５）　　　　　　　 　１式

1. 研究成果発表方法（○または記入をお願いします）

1.シンポジウムにて発表

2.論文を投稿（投稿予定時期：令和　　年　　月）

※：電子データを記録する媒体は、CD-R、DVD-R、USBメモリ、SDカードのいずれかとする。

様式－３②

成 果 報 告 書 の 要 約

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助　成　番　号第　　　　　号 | 助　成　研　究　名 | 研究者・所属 |
|  |  |
| キーワード |  |
| 要約の構成は自由ですが、ホームページ等の広報資料に掲載いたしますので、研究目的、研究手法、研究成果など、一般の方にも分かり易いようにして下さい。枚数は１～２枚程度でまとめて下さい。 理解を助けるために、図表、写真などを貼付してください。 |
| 研究の目的の達成度 | 最終的に研究計画書に示した研究の目的が達成できたかについて、簡潔にご記入ください。達成できなかった場合は、その原因等をご記入ください。 |

様式－４

決　算　報　告　書（その１）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助　成　番　号第　　　　　号 | 助　成　研　究　名 | 研究者・所属 |
|  |  |
| 科　　目 | 金　　　額 | 摘　　　要 |
| 計　画 | 実　績 |
| 人　件　費 |  |  |  |
| 資　料　費 |  |  |  |
| 調　査　費 |  |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |  |
| 消耗品等費  |  |  |  |
| 通　信　費 |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |
| 謝　　　金 |  |  |  |
| 借料・損料 |  |  |  |
| 論文投稿料 |  |  | 投稿した学会名[ ][ ] |
| 管理費用 |  |  |  |
| 　小　　　計 |  |  | （単位：円） |

様式－４

決　算　報　告　書（その２）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助　成　番　号第　　　　　号 | 助　成　研　究　名 | 研究者・所属 |
|  |  |
| 科　　目 | 金　　　額 | 摘　　　要 |
| 計　画 | 実　績 |
| 二期目への繰り越し金額※１※２ |  |  |  |
| 　総　合　計 |  |  | （単位：円） |

令和　　年　　月　　日

上記のとおり相違ないことを証明します。

会計責任者等※３　所　属

役　職

氏　名

様式－５

※１　二期続けて助成を受けた場合でかつ、一期目の助成総額全額の３割以内で

JCMAの了解を得た場合のみ二期目への繰り越しが可能です。

※２　一期目でなおかつ繰り越す場合にのみ記入願います。

※３　決算報告について責任をもって証明できる者であることが必要です。

印

発表実績一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 発表時期 | 発表場所または論文掲載場所 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
| ３ |  |  |
| ４ |  |  |
| ５ |  |  |
| ６ |  |  |

様式－６①

一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成中間報告

令和　　　年　　　月　　　日

一般社団法人日本建設機械施工協会

会　長　　　　田﨑　忠行　殿

 〒

住　　所

所　　属

ふりがな

氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

令和　　　年　　　月　　　日付　　　助成番号　　　第　　　　　号

助成研究名　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

　上記の助成研究の、第２四半期までの進捗状況とこれまでに得られた成果の概要及び今後の見込みについて、下記書類を添えて中間報告いたします。

－　記　－

１．助成研究の中間報告書（様式―６②）　　　1部及び電子データを記録した媒体※

２．助成研究の実施工程表（様式―６③）　　　1部及び電子データを記録した媒体※

※：電子データを記録する媒体は、CD-R、DVD-R、USBメモリ、SDカードのいずれかとする。

様式－６②

助成研究の中間報告書

報告日　令和　　年　　月　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助　成　番　号第　　　　　号 | 助　成　研　究　名 | 研究者・所属 |
|  |  |
| 中間報告の期間 | 助成決定から翌年度第３四半期（12月末）までの研究 |
| 進捗状況とこれまでに得られた成果の概要及び今後の見込みについて、簡単にご記入ください。 |

様式－６③

助成研究の実施工程表

報告日　令和　　年　　月　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助　成　番　号第　　　　　号 | 助　成　研　究　名 | 研究者・所属 |
|  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 令和 年 | 令和 年 | 備考 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

〈記入例〉 予定工程（実線（4.5ｐ））と比較出来るよう、実施工程を破線（4.5ｐ）で記入

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．○○の調査 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※実施工程は、翌年12月までは実績を、翌々年1月から3月は予定で記入して下さい。

※請書提出時の予定工程表と大きく異なる場合は理由を備考欄に記入して下さい。

様式－７

令和　　年　　月　　日

助成研究の変更報告書

一般社団法人日本建設機械施工協会

会　長　　　　田﨑　忠行　殿

　(注)

氏　　名 印

所　　属

住 　所

電話番号

令和　　年　　月　　日付助成番号　　　で助成決定を受けた「（助成テーマ名を記入）」について、下記のとおり変更の必要が生じたので報告します。

記

1. 変更内容
2. 変更の理由

(注)　申請者が法人の場合は、法人名および代表者名とし、研究グループの場合はその代表者名とする。

【参考】報告書様式例

報告書は、以下の構成に準じて、作成してください。

令和元年度

一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成報告書

助成番号：

助成テーマ名

―副題―

令和３年３月　日

助成研究者氏名

所属機関名称

報告書要約

目的

研究方法

調査、実験等の結果

結論

今後の課題

助成研究者所属・氏名

共同研究者所属・氏名

-1-

目次

第Ⅰ章

1.

1.1.

1.2.

2.

3.

第Ⅱ章

1.

-i-